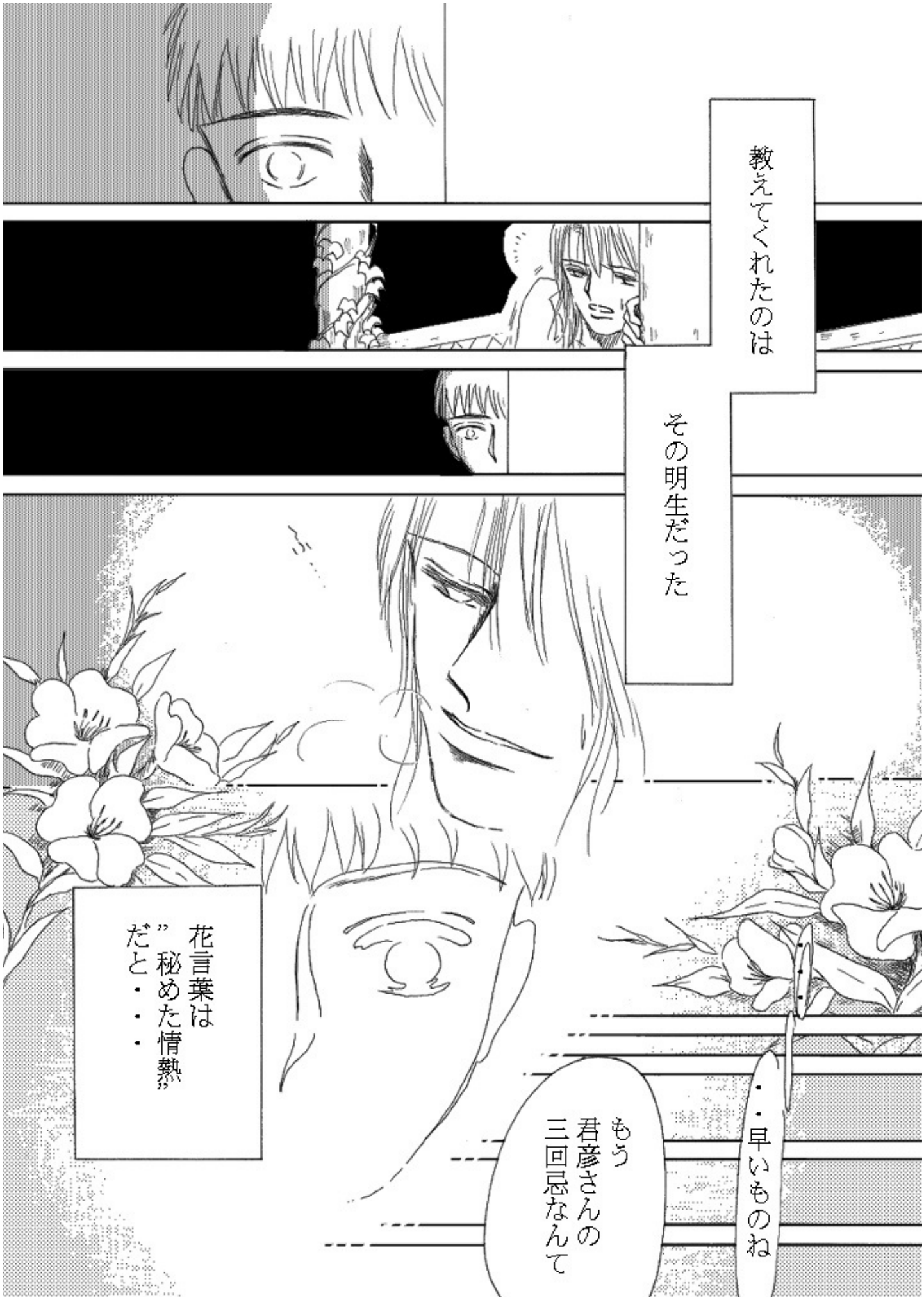
待宵草

待宵草

その頃
カコカコ
・・・あー もうこんな 時間・・・
カコカコ
ヤバ・・・ 寝落ち ・・・と
僕の家には 当時大学生だった 従兄弟の明生(あきお)が
ジャー
あれ？
ミーコ？
ニャー
おまえ ダメだろ 夜 外に 出ちゃあ
どっから 出たんだよ
大学に通うために 一緒に住んでいた
こらっ まてっ
もー
・・・・・
・・君彦さ・・ん・・・

・・・その花を
”宵待草（まつよいぐさ）”と
いうのだと


教えてくれたのは
その明生だった
ふ…
…早いものね
もう君彦さんの三回忌なんて
花言葉は”秘めた情熱”だと・・・

ええ
突然でした
から
再婚は？
考えて
ないの？
そんな
まだまだ
まだ哲志もいますし
てっちゃん
背が伸びて…
ええ…

え・・・哲志・・・
てっちゃんなの？
ご無沙汰してます
すごい背が伸びて！わからなかったよ！
あきちゃんひさしぶり
・・・・眼鏡も
かけたんだ・・・
お父さんによく似てきたね
そうだ
どうして
こんな眼鏡を選んでしまったんだろう
ほんとねー
ですねー
若い頃にそっくりね

嘘だ
嘘だ

絶対嘘だ
嘘に決まってる

「影の現象学」？
「昔話の魔力」？
「世界神話・・」
「チェーホフ短編集」
本当はね
・・・あげたんだ
チェーホフ短編集
どうして
お母さんに
ばらさなかったの？
・・・ばらして
ほしかったの？

・・・うん
ねえ
愛する人が突然死ぬってどんな気持ちかわかる？

・・・・いや
ほっとしたんだ
くすくす…
ほっとした

ああ
もう
何も・・・
思い悩まなくて
いいんだって
何度も
終わらせようとした
何度も
一緒に死んで
ほしいと言った
僕はね
秘めた恋なんて
まっぴらだった
・・・・昼間は
普通に
暮らせるんだ
でも夜になると
あの人が欲しくなる
そしてそんな自分が
嫌いになるんだ
でももう
それも・・・

・・・全部終わったんだ
・・ほっとしたよ・・
・・・ね
でも
・・てっちゃん
・・僕はまだ
生きてるかな・・

・・・ちゃんとまだ・・
生きてるかな・・・
――月の光を浴びて
・・あの人が死んでから
自分が生きてるのか
死んでるのか
あの夜
この人は美しかった
よく
わからないでいる
本当は
あの人と一緒に
ぼくも
死んだんじゃ・・・

夜にだけ
真実を晒す
あの花たちのように
本当に
本当に
美しかった――

・・・あったかい
生きてるじゃない
・・・うん
・・・そう？
・・そ・・・

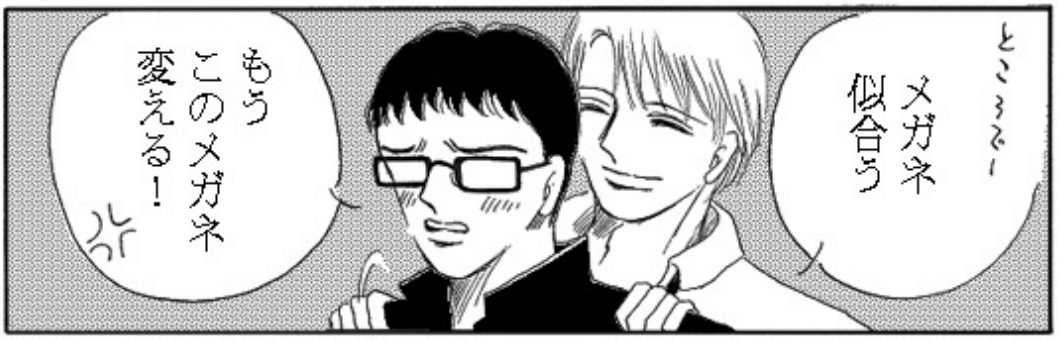
・・・うん

ありがと・・・

・・・そうして

花に恋した
僕の初恋は

そのはじまりから
実るはずも
なかったのだ



2011.5 inoha